

この新しい駅舎と入口に輝く「長生村(ながいきむら)駅」の看板。そう八積駅の改名でした。駅名改称にはJRシステム改修費や時刻表、路線図の変更など多額の費用がかかり、自治体からの要望となれば全額自己負担。数億円がかかると言われて

います。一昨年、茨城県龍ヶ崎市がJR常磐線佐貫駅を龍ヶ崎市駅に改名したと聞き調べました。

令和二年三月十四日に誕生した龍ヶ崎市駅。費用は当初三億八八九四万円弱と言われたが、「高輪ゲートウェイ駅」の開業や常磐線全線運転再開などに合わせた結果、二億二四六九万円に減額。財源は全てふるさと納税だそう。ちなみに昨年度、本



八積駅と完成間近のラウンドアバウト (環状交差)

村のふるさと納税は十億七九八四万円です。千葉県一位でした。

令和五年春頃誕生予定のJR京葉線「幕張豊砂駅」に合わせ、八積駅の改名を考えてみたいと思えます。

「長生村駅」となれば多くの人を訪れてくれ、また住んでくれそうな気がしますし、「長生村駅」から長者町駅(ちようじやまち)にすみ市)のキップも売れそうです。

令和五年は長生村誕生七十周年の年です。駅舎は無理でも駅名だけでも変更できれば、村の魅力も大きく変わる気がします。

女性部
「スズランの会」
活動報告



令和四年の輝かしい新年を迎えることとお喜び申し上げます。

昨年は、人々の集いの場、生涯学習の拠点となる交流センターが完成し、さらに今年には小高村長の公約でもありました、八積駅南口駅前広場の「ラウンドアバウト」が完成し、人も車も安心・安全が確保できることは、とても良かったと心から思います。スズランの会の昨年は、交流センターの内覧会を経て、さあ活動開始と意気込んだ矢先に、緊急事態宣言の発令により、計画

した活動を断念せざるをえませんでした。

今年もコロナ禍は続くと思いますが、感染防止に努めながら活動出来ないものかと模索しております。

平穏な日常が一日でも早く戻りますことを祈りながら、明るく活気ある長生村を望んでいます。

「村長出演」
バンドフェスティバル

昨年十二月十二日、長生村と北は大網白里市、南はいすみ市から五つのバンドが結集し、「長生バンドフェスティバル」二〇二一」が村文化会館ホールで二年ぶりに開催されました。

コロナ禍の開催を考え、七月から四回の実行委員会を開き、入場制限三分の一、マスク、消毒の徹底、チケットに氏名、住所、連絡先記入等、とれる対策を全て検討しました。

当日、久し振りのステージに出演バンドは朝のリハーサルからノリノリ。待ちかねた観客は一時前前からソワソワ。

十三時の開演、トップバッターは小高村長が加入する「G・M A C S(ジーマックス)」。村長はMC、パーカッション、ボーカル二曲「サボテンの花(財津和夫)」「HEROヒーローになる

時それは今(甲斐バンド)をつとめ、さらに総合司会としてラストまで。観客も出演者も大変盛り上がった一日でした。



右側の上下白が小高村長

◇おだか陽一後援会を募集しております。

[申し込みはおだか陽一後援会事務所。またはお近くの役員までお願いします。]

おだか陽一公式ホームページは下記のURLまたは<おだか陽一>で検索

<http://odakayoichi.com/>